

414
A3411
1



明治六年九月

理財課

大正十一年四月

由務須

補

輔

丞

丞

才代限處分方之儀、自正院、上陳、按

其年來少野、但破產、島田、應休、業之、振柄、世、上、
金融、之、多、漸、以、其、寒、之、況、之、以、好、味、を、
推、進、致、し、少、去、未、年、月、迫、及、多、甲、夫、卷、上、之、般、
困、難、之、場、合、可、立、至、切、之、補、計、を、上、想、登、付、可、
被、存、存、理、財、之、為、之、出、省、之、責、任、を、負、ふ、事、に、

414
A 3411
2

法律取調に基迅速に爲す被行を爲す後議を
出た格致及依り現今之實況を具狀し各處傳言
致し候事也

年辨目

力取大由三條実の存

大藏卿大隈重信

好轉

一昨年已降一取商業に恰好致サブルヨリ之新以
ニマ互に致巨摩之商費輩進一衰弱及ヒ小野組ハ閉
店嶋田組ハ休業ニ際會之是才ノ教響波及イタル也
該府下ハ勿論各府縣於テモ高貴共比ハ身代限裁削
主成ル者トシ、他ニ世上不融通ノ趣亦熟考致シル也
資金ノ有無ヲ流通イタル也商法上ノ權衡至全儀筋
ニ得共之ヲ奉寧ニ徴シル得テ家産不約令ハ商業ヲ
經營ニ甚シキハ後障ノ射利ニ涉リ遂ニ自他ノ損失ヲ

大正十一年四月
大隈侯爵御筆

誠之

釀成ハ類不割隊ニ有之兼テ身代限ノ法制アツテ債
主ノ権限ヲ達セシメ負債主ノ戸前若揭在場ニ廣告
シテ傍ラ塵耻ヲモ知ラシメト此旨意ニ有テ受方今
ニ立ッテハ身代限裁判ヲ受ト後配トシテ恥チサル人
情ニ立至リ亮ニ歎スヘキノ景況ニ有テ其ノ由テ来ルヤ
或ハ身代限規則ノ未タ密チニナルニ有テ其ノ由テ来ル
利府此條ニ打過ルヨリ自然全國ノ理賦上ニ受海
ニ終ニ海外ノ嘆笑ヲ来シル姿ニ付杞憂ニ余リ
本省此在ニ一ポルト氏ニ就キ彼不同クタル交澳地利
國身代限ノ法制ニ於テ曩時ヨリ精密ニ取後多ク發
家産不適用ノ商法ヲ禁シ若シ其格當ノ負債主
資本所有物ホヨリ超過スル者ハ遂一所以ヲ上告セ
シメ其款ヲ推テ方法ヲ論シ或ハ身代限ニ處スルホ制

規頗ル懇篤ニシテ人民自他ノ損失ヲ稍々拯フヘキノ
良法アルヲ聞ケリ所國內此ノ如キノ弊習ヲ御射
セサル可ラサルハ此意ニ有テ其ノ試ニ漢國身代限ノ
法制ヲ翻譯イタシ以テ参考ニシ正院ハ此上條ニ成
テ然ラザル尤右法制書元六五五ニ救救モ有テ
板ニ甘沙沙法以テ解ノ條更ニ一ポルト氏ハ
中合ハ振テ致ル者此限案ニ試チル也

